

玉川町 防災まちづくり活動ニュース

平成 27 年 10 月発行 いわき市 危機管理課

第 2 回防災まちづくりワークショップを実施しました

平成 27 年 10 月 3 日（土）午前 10 時から玉川会館にて、玉川地区自治会の役員や防災対策委員会のメンバーを中心とする皆さまで「第 2 回玉川町地区防災まちづくりワークショップ」を実施しました。

※「防災まちづくりワークショップ」は、地区の住民のみなさんの話し合いにより、ハザードマップや計画づくりを進めるもので、平成 27・28 年度にわたり全 10 回行います。

今回は 13 名(地区住民●名、小名浜支所 1 名、パートナー参画●名)が参加し、3 テーブルに分かれて、地区の白地図へマジックやシールで書き込み作業を行い、防災からみた地域の状況を話し合いました。また、集中豪雨による土砂災害の場面を想定し、発生する被害規模をイメージしました。

続いて、話し合いを通じて得られた地域の強み・弱み等を「地域の分析シート」としてとりまとめました。

最後に、テーブルごとに話し合いの内容を発表し、現地を歩いて確認すべき箇所を確認しました。(詳しい内容は裏面参照)



次回は、実際に地区を歩いて、危険箇所などを確認します。これからでも参加できますので、地区の防災に関心のある方は是非参加してみませんか。(お問い合わせ先は下欄をご覧ください。)

◆防災まちづくり活動支援事業に関するお問合せは



いわき市行政経営部危機管理課：植野(うえの)、久野(ひさの)、藁谷(わらがい)
(電話 22-7551(直通))

★ 第2回ワークショップで話し合った内容 ★

■地域の強み・弱みの地図上での整理

○地図をテーブルに広げて、災害時の活動の軸となる道路や、公共施設等のほか、災害時の危険箇所を確認しました。

【これまでの大雨の際に水があふれた箇所等、参加者の皆さんから様々な情報を出し合っていたいただきました。次回のまち歩き等で確認・整理します】



■地域で想定される被害の確認

○地区内の土砂災害警戒区域等の危険箇所の概ねの位置・範囲を確認し、これらの範囲に含まれる建物の数や居住者数を試算してみました。【百人単位での避難生活者が出る場合も想定され、備えの大切さを全員で理解しました。】

■地域の分析・課題の話し合い

○防災に関する地域の強み、弱みと避難の課題を整理しました。（抜粋）

○地域の強み

- ・周辺での店舗の存在
- ・要援護者名簿の作成

○地域の弱み

- ・若年層の地域貢献の少なさ
- ・過去にも水があふれた箇所が存在

○避難の課題

- ・お年寄りの避難をどうするか？
- ・一人暮らしが多いことにどう対応するか？
- ・過去に水があふれた箇所での経験を共有する必要がある。

次回以降の防災まちづくりワークショップの予定

次回は「まち歩き」を開催します。これからでも参加できるプログラムと なっていますので、是非ご参加ください。【お申し込みはオモテ面下の連絡先まで】

回数	時期	取り組み
第3回	11月7日(土) 午前10時~12時	○まち歩きによる防災上の課題の現地確認
第4回	12月5日(土) 午前10時~12時	○地区の防災上の課題の整理
第5回	2月6日(土) 午前10時~12時	○ハザードマップの作成 ○2年目の活動計画の検討